

# 人間社会学研究科 博士論文審査基準

(この基準は平成 24 年度内に提出される学位請求論文より適用される。)

言語文化学専攻
博士論文は以下の基準をもって審査する。 <ol style="list-style-type: none"><li>1) 研究テーマが絞り込まれている。</li><li>2) 研究の方法論が明確である。</li><li>3) 先行研究についての調査が十分に行われ、その知見が踏まえられている。</li><li>4) 結論に至る議論の展開が十分な論拠に支えられ、かつ論理的である。</li><li>5) 当該分野の学術研究の進展に貢献する、独創性を備えた内容である。</li></ol>
人間科学専攻
博士論文は以下の基準をもって審査する。 <ol style="list-style-type: none"><li>1) 研究テーマが絞り込まれている。</li><li>2) 論文の方法論が明確である。</li><li>3) 研究テーマについての先行研究の調査を十分に行っている。</li><li>4) 研究の素材となる基本文献、資料、調査データを十分に吟味している。</li><li>5) 研究テーマについて、先行研究にはない新しい知見を打ち出している。</li><li>6) その知見を裏付けるための、必要にして十分な議論と実証が展開されている。</li><li>7) 当該分野の研究領域に新たな地平を切り開く、独創性を備えた論文である。</li></ol>
社会福祉学専攻
博士論文は以下の基準をもって審査する。 <ol style="list-style-type: none"><li>1) 研究テーマが絞り込まれている。</li><li>2) 研究の方法論が明確である。</li><li>3) 先行研究が十分に踏まえられている。</li><li>4) 結論に至る論理展開が説得的である。</li><li>5) 研究内容に独創性があり新しい知見を提示している。</li><li>6) 当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められる。</li></ol>